

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

キッズボンド竹鼻

調査期間：令和3年 11月 1日～令和3年 11月 30日 回答職員数： 4名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2	・利用人数によってスペースが狭く感じる。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	2	・原則として、児童 2.5 人に対して 1 名の指導員を配置しているが、足りないと感じる時もある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	0	・バリアフリーになっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	・毎日清掃を行い、殺菌も行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	・毎日受け入れ前ミーティングを行い、週 1 回職員会議を行い、意見を出し合っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	・毎年、評価表でアンケートを実施したり、送迎時にお話をしたり、保護者のニーズを把握するよう努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	・毎年、ホームページに公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	4	・行っていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	・定期的に研修を行っている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	0	・職員が ASIST 研修を受け、実施している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	・KB では標準化されたアセスメントツールを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	・支援計画に沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	・担当者が原案を考え、職員会議等で話し合っ決定している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1	・グループ内の事業所の活動を参考にしたり、職員間で案を出し合ったりしている。

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	4	0	・子どもの状況に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画の作成をしている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	・毎日、受け入れ前ミーティングを行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1	・支援終了後に気づいた点など話をして共有するよう努めている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	・毎日、支援記録を記入している。職員間で情報共有をしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	・半年に一度モニタリングを行っている。必要であれば前倒しで行う。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4	0	・サービス担当者会議があるときは参加し、情報共有している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	1	・訪問や見学等で連携を図っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	3	1	・現在、受け入れなし。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	0	・現在、受け入れなし。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	0	・関係機関連携をとって情報共有、相互理解に努めている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	0	・学校の迎え時や関係機関連携により、情報共有、相互理解に努めている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	・担当者会議などで助言を受けたりしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	4	・コロナ感染予防のため行っていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	4	・現在、機会がない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	・送迎時に口頭でお伝えしたり、連絡帳を活用している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	1	・相談支援等で支援を行っている。
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	・契約時に説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	0	・保護者に支援計画を見ていただきながら、説明をし、同意を得ている。

	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	・半年に一度モニタリングを行っている。 常時、ご相談があれば応じている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	・コロナの状況をみながら、計画していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	・その都度、対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	・毎日の Facebook のアップ、毎月の通信発行、配布を行っている。行事予定も配布している。連絡体制はラインも利用している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	0	・鍵付きの書庫で保管をしている。HP 上の写真には保護者の同意を得た上、モザイクをかけている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	・わかりやすい言葉で伝えている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4	・コロナもあり、機会がない。これから行っておきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	0	・書類にして周知している。 ・保護者にしっかりと周知されているか。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	・毎月 1 回、避難経路の確認、救出、映像鑑賞などで訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	0	・保護者との連絡を取っている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	・保護者が医師から受けた情報に基づいて対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	・ミーティング等で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	・定期的な研修の中でテーマとして取り上げている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	0	・運営規定に記載している。契約時に説明を行っている。